

2020年度の 位置づけと 取り組み

RICOH
imagine. change.

2020年5月8日
株式会社リコー
代表取締役 社長執行役員 CEO
山下 良則

本資料に関する注意事項

本資料に記載されている、リコー（以下、当社）現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。従って、実際の業績はこれらと異なる結果となる場合がありますので、これら業績見通しにのみ全面的に依拠なさないようお願い致します。

実際の業績に影響を与える重要な要素には、a) 当社の事業領域を取り巻く経済情勢、景気動向、b) 為替レートの変動、c) 当社の事業領域に関連して発生する急速な技術革新、d) 激しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる製品・サービスを当社が設計・開発・生産し続ける能力、などが含まれます。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。（参照：「事業等のリスク」<http://jp.ricoh.com/IR/risk.html>）

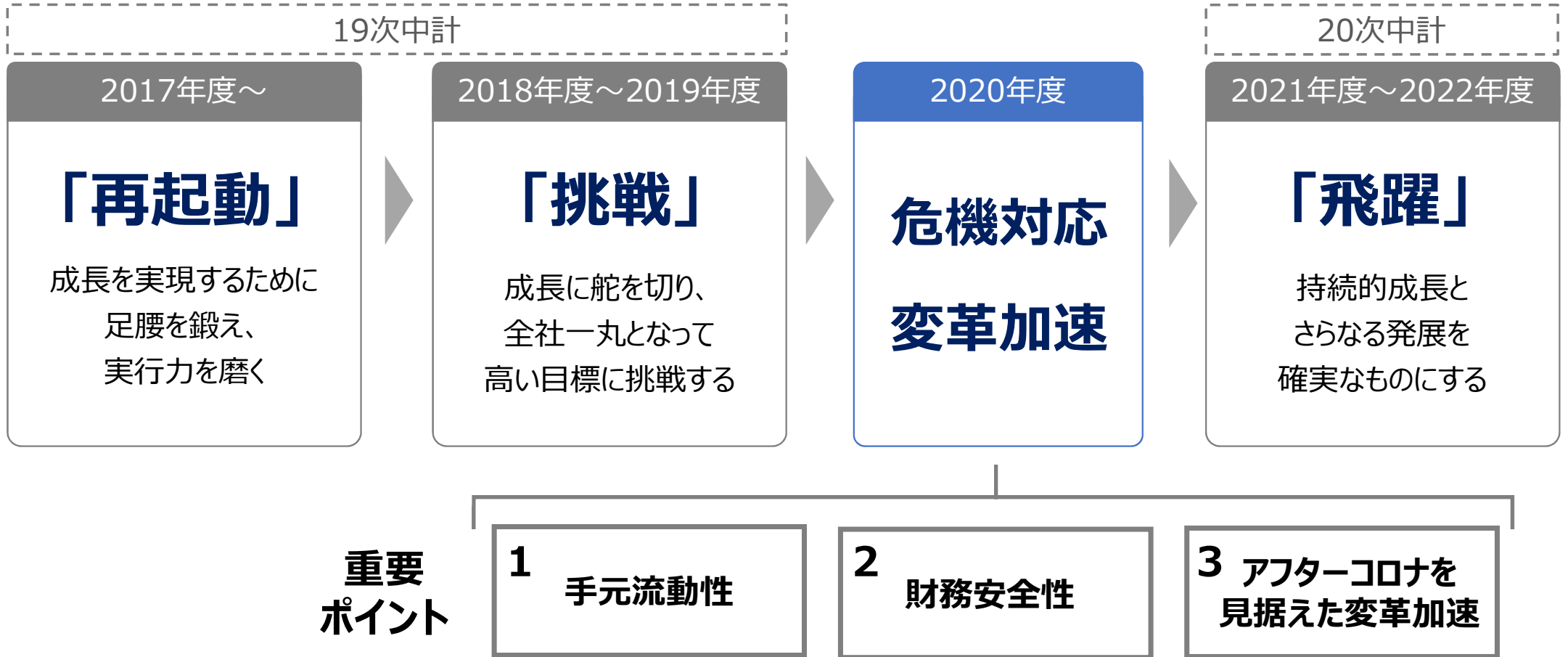
本資料に他の会社・機関等の名称が掲載されている場合といえども、これらの会社・機関等の利用を当社が推奨するものではありません。本資料に掲載されている情報は、投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関するご決定は、ご自身のご判断において行うようお願い致します。

本資料における年号の表記：4月から始まる会計年度の表記としております。

(例) 2019年度 (FY2019)：2019年4月から2020年3月までの会計年度

2020年度の位置づけ

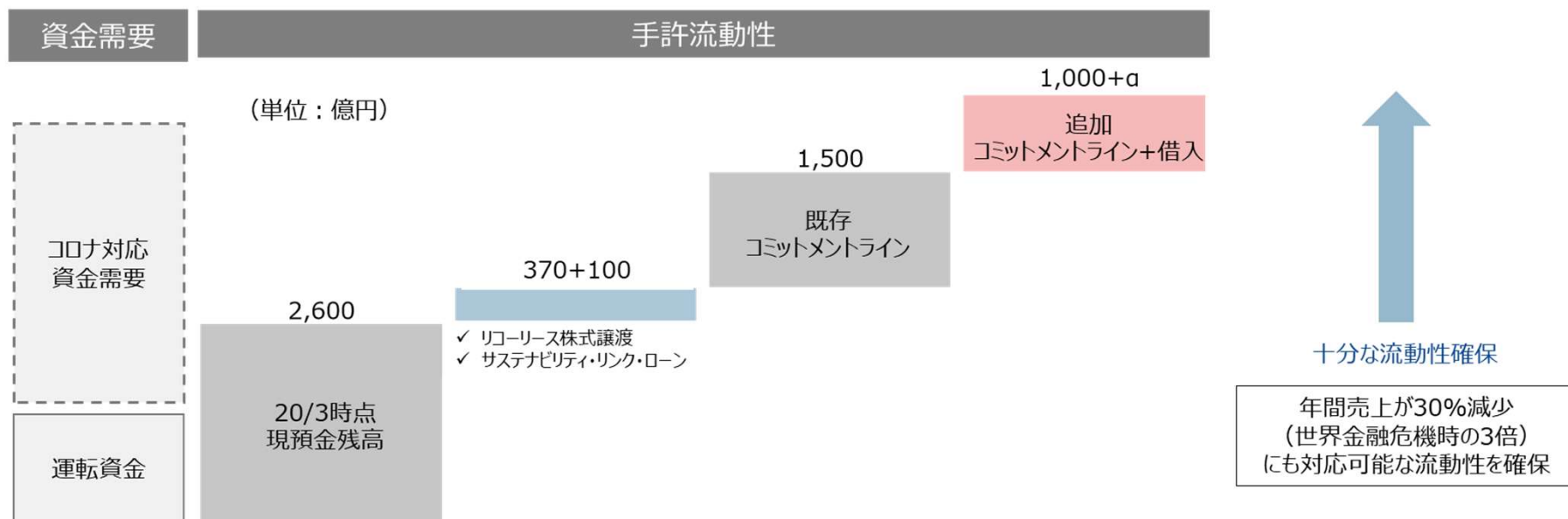
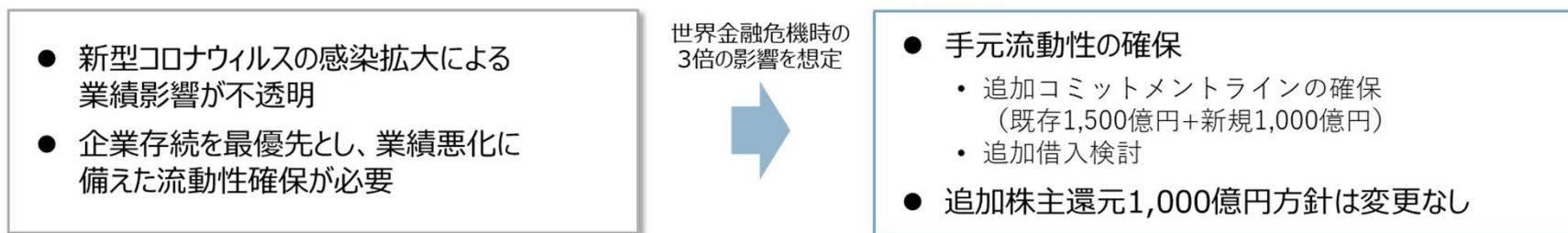
「飛躍」に向けた「危機対応」と「変革加速」の1年と位置づける



1. 業績変動に備えた手元流動性確保

年間売上3割減にも対応可能な流動性を確保

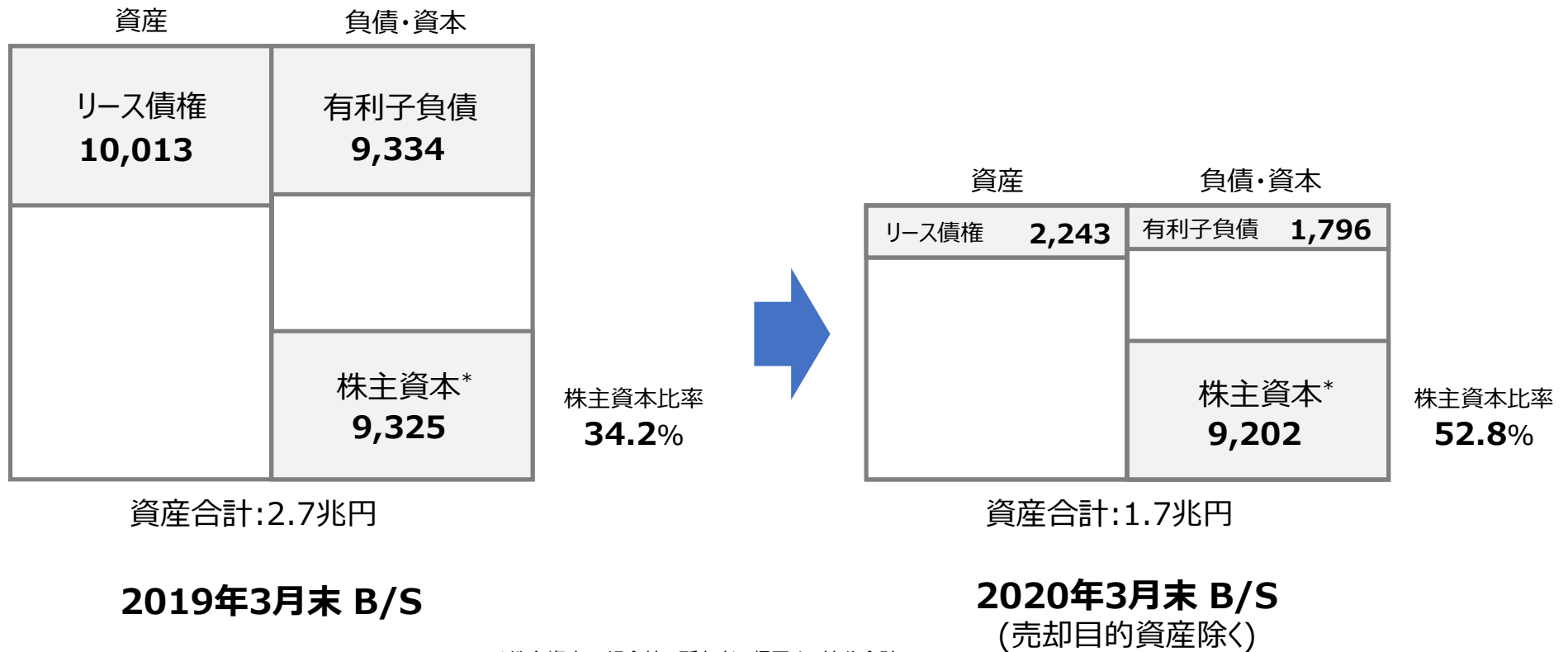
2019年度
決算説明資料P14



2. 財務安定性の改善

リコーリース非連結化により財務安定性を向上。リスク資産・有利子負債を圧縮

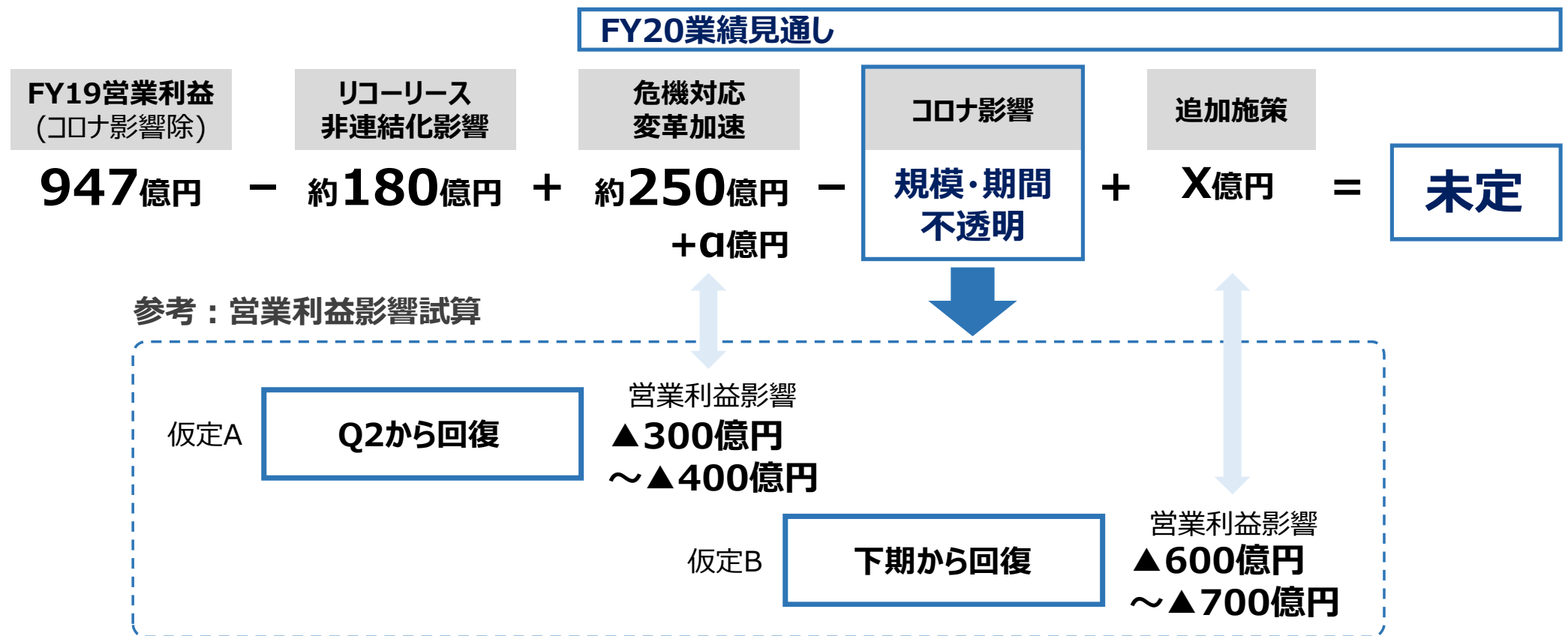
(単位：億円)



*株主資本：親会社の所有者に帰属する持分合計

FY20業績見通しについて

- コロナ影響は規模・期間とも不透明
- 各対応施策により回復を狙うものの、FY20の業績見通しは未定



3. アフターコロナを見据えた変革加速

OAメーカーから**デジタルサービスの会社**へ

はたらく人の創造力を支え、ワークプレイスを変えるサービスを提供する会社

想定される
社会環境・市場・
顧客の変化

- ✓ 持続性経済の比重が高まる
- ✓ ドキュメント市場は紙から電子へ
- ✓ 空間的・時間的な境目が薄れる
→職住接近、組織の境目も曖昧に
- ✓ 働き方や価値観の変化
→ギグワーカー・個人事業主の増大
- ✓ 定型業務は自動化、省人化する
→人は創造性の高い仕事へフォーカス

新型コロナ拡大によって
環境変化が強制的に加速

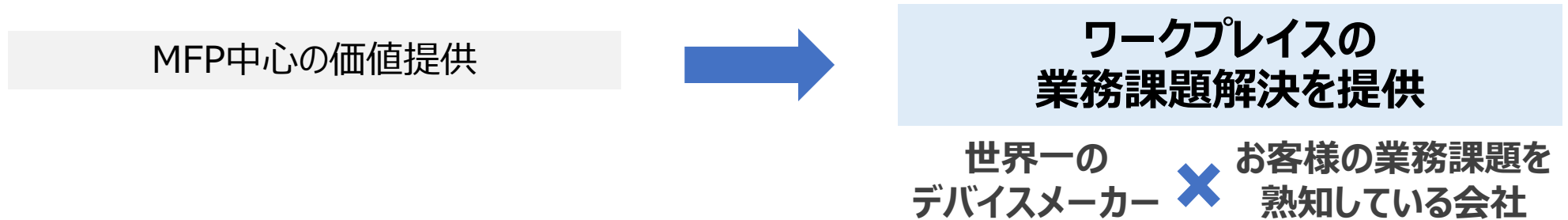
我々が今、加速すべきこと

(1) OAメーカーからの脱皮

(2) デジタルサービスの提供

3-(1) OAメーカーからの脱皮

「リコー飛躍」で想定した世界が前倒して発現し、リコーの提供価値を進化させる



<提供価値の変化に対応するリコーの実行施策>

1 MFP事業に最適化されたバリューチェーンの徹底した効率化

- 世界一のデバイス提供にフォーカスする開発・生産リソースの重点化、OEM調達/供給の拡大
- 販売・サービスオペレーションの生産性向上
- 拠点リソース、人事・組織体制の最適化 など

160億円程度

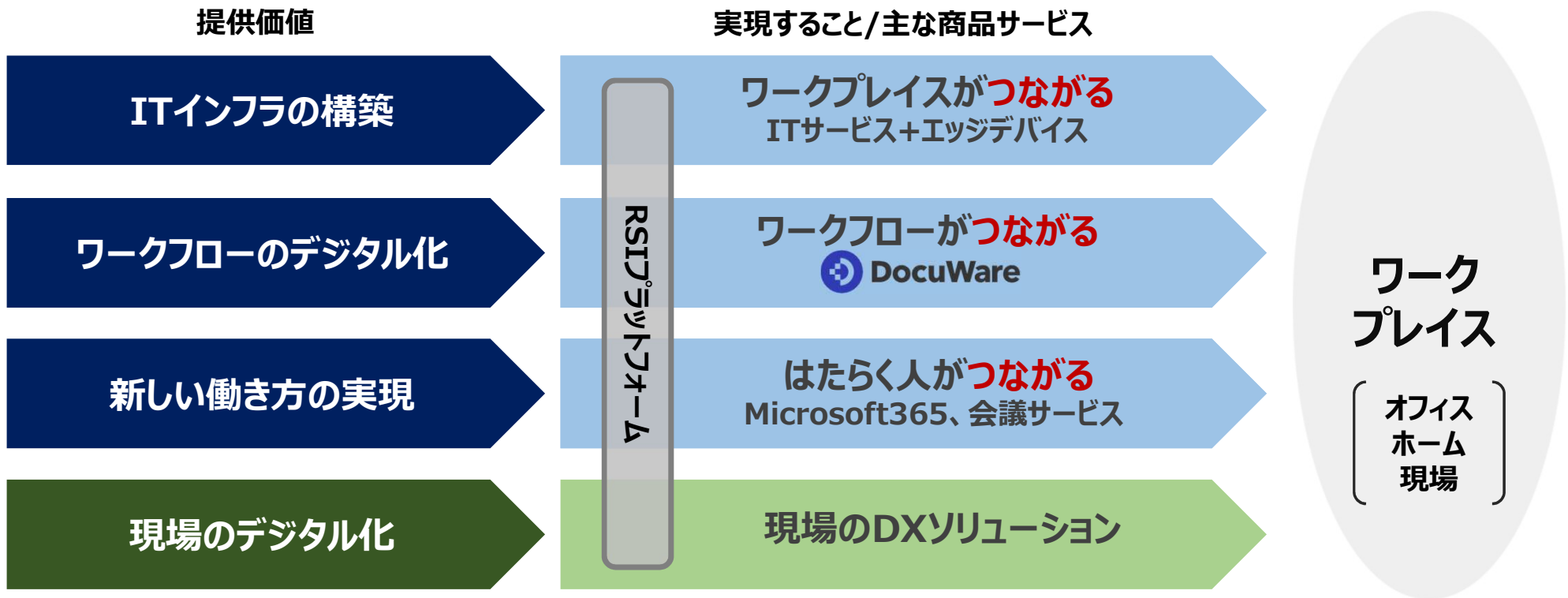
2 社内DXによる効率化推進（デジタルサービスの社内実践）

- 本社業務プロセスのデジタル化
- デジタルマニュファクチャリングの強化 など

90億円程度

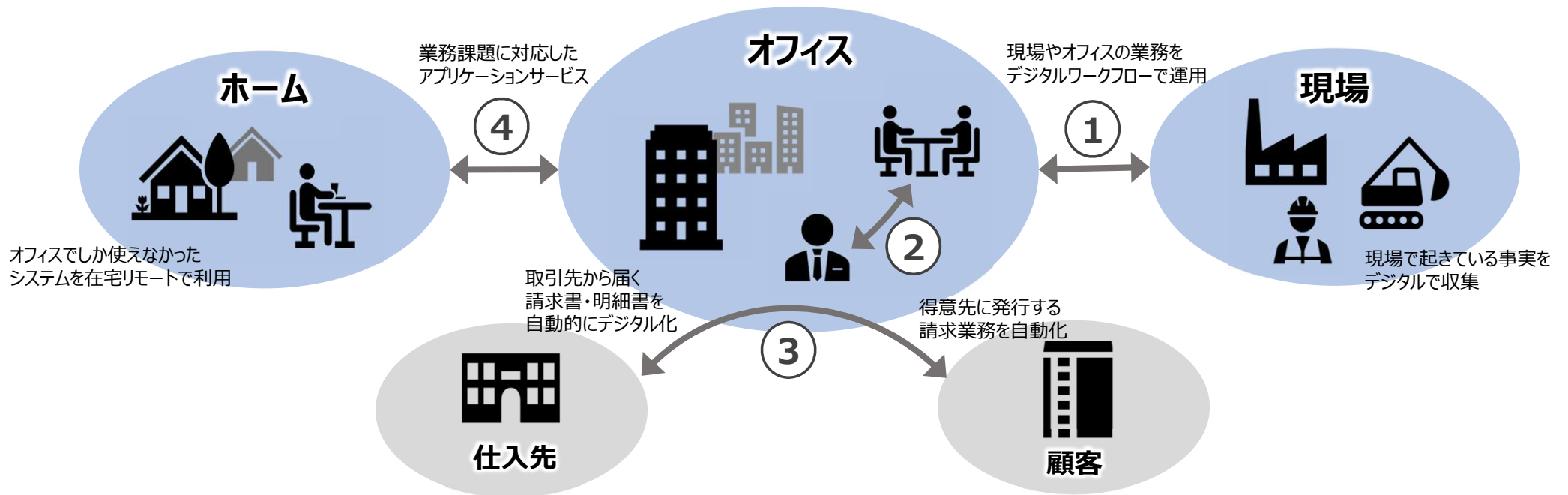
3-(2) デジタルサービスの提供

リコーの考えるデジタルサービスとは、ワークプレイスの**ITインフラ**を構築し、**ワークフロー**をデジタル化してつなぎ、**新しい働き方**を実現するサービス



広がるワークプレイスをデジタル化するサービス

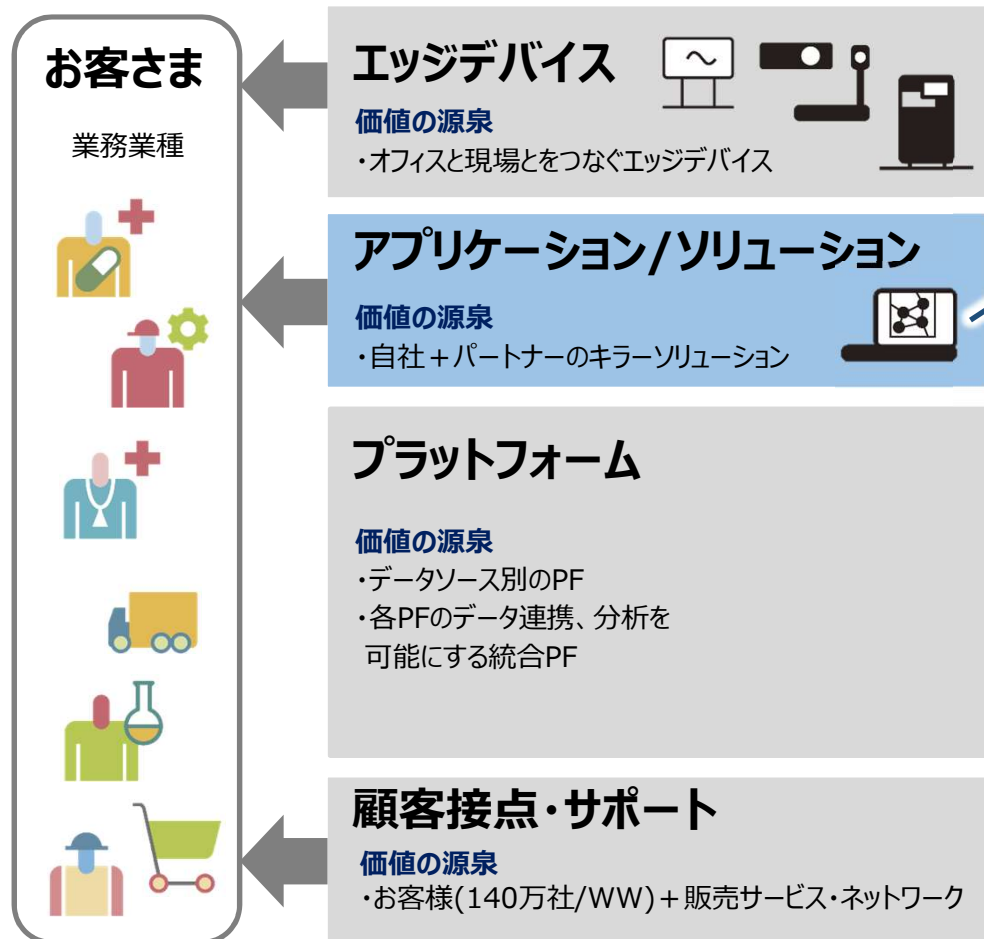
コロナによって顕在化した、ワークプレイスをデジタル化することの意義



①現場とオフィス、②業務と業務、③企業と企業、④オフィスとホームの間に介在するストレスをなくす。
キーワードは「リモート」と「自動化・省人化」

国内展開：豊富な業種業務アプリケーション

2018年2月6日 成長戦略「リコー挑戦」より抜粋



リモートワーク向けアプリケーション

- 在宅勤務パック
+セキュアな印刷環境を提供するパッケージサービスを追加
(2020年5月下旬リリース予定)

リモート

業種業務アプリケーション

- 福祉介護業向け 入所者安心安全パック
3D画像センサーで入所者の徘徊、転倒事故を未然防止
- 建設業
- 製造業
- 流通サービス業
- 不動産業
- 医療業
- 観光業

自動化
省人化

10業種+1業務、計108種類のパッケージを
6月上旬より順次発売予定

海外展開：「リモート」を実現するパッケージサービス

2018年2月6日 成長戦略「リコー挑戦」より抜粋



在宅勤務パッケージサービス(提供予定)

リモート

- ノートパソコンやプリンタとともに、在宅勤務ガイドやトレーニング、サポートなどをパッケージ化
- 英 大手保険会社にて、新型コロナウイルス対策として、全社員のリモートワークへの移行が急務に
- 在宅ワークに必要なハードウェアの提供 (数千台のタブレット端末、スマートフォン、ヘッドセット)
- ネットワークの構築やセキュリティ対策を実施





遠隔授業パッケージサービス

リモート

- 遠隔授業を可能にするハードウェア・ソフトウェアをパッケージ化
- イタリアの学校・大学に、30日間の無償サービス提供
- ビデオ会議を介して教師が簡単に授業を行う
- ブラウザや無料アプリを介して、コンピュータ、タブレット、スマートフォンからアクセス可能に設定

現場で顕在化するデジタル化のニーズ

現場でも必要とされるのは「リモート」と「自動化・省人化」

現場	顕在化したニーズ	提供価値	商品・サービス
不動産	<ul style="list-style-type: none">現場に行かずに、物件をくまなくチェックしたい	<ul style="list-style-type: none">THETAで撮影した360度画像でつなぎ、リモートでの物件内覧を実現	バーチャル ツアーサービス 
公共 インフラ	<ul style="list-style-type: none">路面状況に合わせて、修繕工事の優先順位をつけたい	<ul style="list-style-type: none">車に搭載されたステレオカメラで路面画像から凹凸を検知	路面性状 モニタリングシステム 
病院	<ul style="list-style-type: none">感染者を正確に特定し、二次感染被害を防ぎたい	<ul style="list-style-type: none">PCR検査の精度を向上させるDNA標準プレートを提供	新型コロナウイルス用 DNA標準プレート 
学校	<ul style="list-style-type: none">自宅にいる生徒にもインタラクティブな教育を行いたい	<ul style="list-style-type: none">遠隔授業を可能にするハードウェア、ソフトウェアをパッケージ化して提供	バーチャル クラスルームサービス 



- 経営状況・施策進捗を四半期ごとに資本市場に示す
- 中計公表は適切な時期に改めて実施

- 経営状況と施策のモニタリング
- 状況変化に応じた機動的な戦略・施策展開をサポート

執行取締役(山下・松石・坂田)が主管

1.手元流動性の確保

2.財務安定性の改善

3.アフターコロナを見据えた変革加速

RICOH
imagine. change.